

看取り・ACPについて

現状・課題	ご議論いただきたい視点
<p>●死亡場所について、病院が減った分、施設と自宅がそれぞれ増えている。（介護保険が始まった平成12年を起点とする）</p> <p>(1) 病院・診療所：18年で12.8ポイント減 ⇒H12年84.3%→H29年71.5%</p> <p>(2) 介護施設：約2倍！ 18年で5.6ポイント増 ⇒H12年6.1%→H29年11.7%</p> <p>(3) 自宅：約2倍！ 18年で7.2ポイント増 ⇒H12年7.8%→H29年15.0%</p> <p>●特に悪性新生物については、病院・診療所が引き続き高い割合であるものの漸減している。</p> <p>(1) 病院・診療所：18年で約10.0ポイント減 ⇒H12年93.9%→H25年83.0%</p> <p>(2) 自宅：18年で2.8倍 8.3ポイント増 ⇒H12年4.5%→H25年12.8%</p> <p>●市アンケート調査（30歳以上市民 n=4,098人）</p> <p>(1) 問39「最期を迎えたい場所」（上位3） ①自宅 50.7%（2,079）、②わからない 18.5%（757）、 ③ホスピス（緩和ケア病棟）8.7%（355人）</p> <p>(2) 問39-1 「最期を迎えたい場所 実現は可能か」 ①無回答 47.3%（1,940）、②難しいと思う 27.9%（1,142）、③わからない 15.2%（622）、④可能だと思う 9.5%（318）</p> <p>(3) 問39-2 「最期を迎えたい場所」（複数回答 上位4） ①家族等肉体的精神的負担 81.9%（935）、家族等経済的負担 51.9%（593）、③在宅での受けられる医療・介護がわからない 32.2%（368）、④環境が整っていないから 19.0%（217）</p>	<p>●最期を迎えたい場所について自宅が50%を超えており、実際にも徐々にではあるが、自宅が増えている。今後、希望する人がさらに自宅で看取られるようにするためには、どのようなことが必要か。特に悪性新生物患者の看取りの場所について。</p> <p>●今後、施設での看取りもさらに増えることが予想されるが、環境整備をどのように進めるか。</p> <p>●ACPは患者本人の自己決定、医療関係者の視点、はたまた医療費のコストの観点など様々な背景を以て語られる。そうした背景を含めて、市民の中に広がっていくための方策はどのようなものが考えられるか。</p>